



## Cisco Unity メッセージングの連動

Cisco Unity は、1 つの統合された環境でボイス メッセージングと統合メッセージングを提供する通信ソリューションで構成されています。

統合メッセージングとは、ユーザがあらゆるタイプのメッセージを同じ受信ボックスで管理できることを意味します。Cisco Unity は Exchange サーバまたは Domino サーバ (Cisco Unity 4.0 以降の場合) と連携して、あらゆるメッセージ (ボイスメールおよび電子メール) を収集して 1 つのメッセージ ファシリティに保存します。ユーザは、タッチトーン電話機またはインターネットを使用して、コンピュータ上のボイス メッセージや電子メール メッセージにアクセスできます。

Cisco Unified Communications Manager を Cisco Unity メッセージ システムと連動させる詳細な手順については、Cisco Unity 用の適切な Cisco Unified Communications Manager インテグレーション ガイドを参照してください (『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity*』または『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity*』など)。



(注)

Cisco Unified Communications Manager を Cisco Unity Connection メッセージ システムと連動させる方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection*』または『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。

この章の構成は、次のとおりです。

- 「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」 (P.31-2)
- 「システム要件」 (P.31-4)
- 「連動の説明」 (P.31-5)
- 「ボイスメール ポートのセキュリティ」 (P.31-6)
- 「参考情報」 (P.31-7)

# Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト

Cisco Unity は、1 つの統合された環境でボイス メッセージングと統合メッセージングを提供する通信ソリューションで構成されています。

統合メッセージングとは、ユーザがあらゆるタイプのメッセージを同じ受信ボックスで管理できることを意味します。Cisco Unity は Exchange サーバまたは Domino サーバ (Cisco Unity 4.0 以降の場合) と連携して、あらゆるメッセージ (ボイスメールおよび電子メール) を収集して 1 つのメッセージ ファシリティに保存します。ユーザは、タッチトーン電話機またはインターネットを使用して、コンピュータ上のボイス メッセージや電子メール メッセージにアクセスできます。

Cisco Unified Communications Manager を Cisco Unity メッセージ システムと連動させる詳細な手順については、Cisco Unity 用の適切な Cisco Unified Communications Manager インテグレーション ガイドを参照してください (『Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity』または『Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity』など)。



(注) Cisco Unified Communications Manager を Cisco Unity Connection メッセージ システムと連動させる方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection』または『Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection』を参照してください。

表 31-1 は、Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイス メッセージ システムを設定する手順を示しています。詳細については、「参考情報」(P.31-7) を参照してください。

表 31-1 Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト

設定ステップ	手順および関連項目
ステップ 1	<p>Cisco Unified Communications Manager、および Cisco Unity または Cisco Unity Connection のシステム要件が満たされていることを確認します。</p> <p>「システム要件」(P.31-4)</p> <p>Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド</p>
ステップ 2	<p>Cisco Unity または Cisco Unity Connection に接続する各ポートのボイスメール ポート (電話番号) を追加します。</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco ボイスメール ポートの設定」</p> <p>Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド</p>
ステップ 3	<p>ボイスメール ポートのボイスメール パイロット番号を追加します。</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco ボイスメール パイロットの設定」</p> <p>Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド</p>

表 31-1 Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト (続き)

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 4	MWI およびボイスメールの内線を指定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「メッセージ受信の設定」 Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド
ステップ 5	ボイスメール ポート DN を回線グループに追加します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「回線グループの設定値」
ステップ 6	ボイスメール ポート DN を含む回線グループをハント リストに追加します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ルート リストの設定値」
ステップ 7	回線グループを含むハント リストをハント パイロットに関連付けます。  (注) ハント パイロットは、設定済みでボイスメール プロファイルによって使用されるボイスメール パイロットと一致している必要があります。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ルート パターンの設定値」
ステップ 8	ボイスメール パイロット番号を設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco ボイスメール パイロットの設定」
ステップ 9	ボイスメール プロファイルを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ボイスメール プロファイルの設定」 Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド
ステップ 10	ボイスメール サービス パラメータを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」 Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド
ステップ 11	Cisco Unified Communications Manager の認証と暗号化を設定します。  Cisco Unity の場合、これはリリース 4.0(5) 以降に適用されます。	Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド 『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』
ステップ 12	連動のテストを行います。	Cisco Unity または Cisco Unity Connection の適切なインテグレーション ガイド 『Cisco Unity Troubleshooting Guide』 電話機システムのインストール ガイドを参照してください。

表 31-1 Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト (続き)

設定ステップ		手順および関連項目
ステップ 13	Cisco Unity フェールオーバー用にセカンダリ サーバを連動させます (Cisco Unity フェールオーバーがインストールされている場合に使用)。このステップは、Cisco Unity Connection には適用されません。	Cisco Unity の適切なインテグレーションガイド 『Cisco Unity Failover Guide』
ステップ 14	Cisco Unified Communications Manager の管理の [アプリケーションサーバの設定 (Application Server Configuration)] ウィンドウで、自動生成された Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバを選択します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションサーバの設定」
ステップ 15	Cisco Unified Communications Manager の管理を使用してボイスメッセージシステムのユーザを設定する場合は、Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成します。 <b>ヒント</b> ボイスメールボックスを作成するには、Cisco Unity Connection と Cisco Unified Communications Manager の管理の両方を設定する必要があります。 <b>ヒント</b> こうするには、Cisco Unity Connection でユーザのインポート機能を使用してユーザを作成します。	『User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection』 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」

## システム要件

電話機システムと Cisco Unity サーバの要件は、次のとおりです。特定のバージョン情報については、適切な『Cisco Unified Communications Manager Integration Guide for Cisco Unity』を参照してください。

### 電話機システム

- Cisco Media Convergence Server (MCS) またはお客様が用意したシスコ構成規格準拠のサーバで動作中の Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアで構成される Cisco Unified Communications アプリケーションサーバである。
- ネットワークに接続されるすべての電話回線、IP Phone、その他の H.323 準拠のデバイスやソフトウェア (Cisco Virtual Phone や Microsoft NetMeeting クライアントなど) に対するシスコのライセンス、および Cisco Unity ポートごとに 1 つのライセンスがある。
- Cisco Unified Communications Manager 内線用の IP Phone である。
- IP Phone をネットワークに接続する各ロケーションが LAN 接続である。
- 複数の Cisco Unified Communications Manager クラスタがある場合、ユーザがトランク アクセスコードやプレフィックスをダイヤルしなくても、別の Cisco Unified Communications Manager クラスタ上の内線にダイヤルできる。

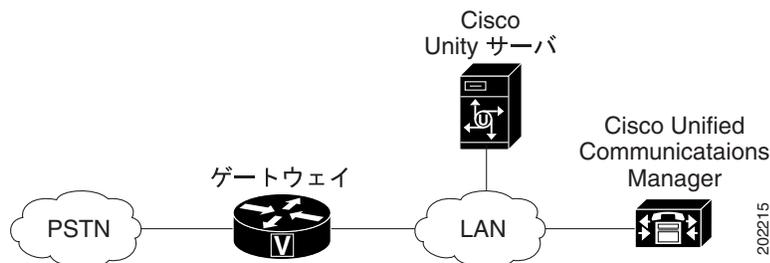
### Cisco Unity サーバ

- Cisco Unity システムがインストール済みで、『Cisco Unity Installation Guide』の説明どおりに連動の準備ができています。
- SCCP と連動する場合 (SIP トランクではありません) : 適切な Cisco Unity-Unified CM TSP がインストールされている。TSP の互換バージョンの詳細については、『SCCP Compatibility Matrix: Cisco Unity, Cisco Unity-CM TSP, Cisco Unified CM, and Cisco Unified CM Express』を参照してください。
- 適切な数のボイスメール ポートを使用できるライセンスがある。

## 連動の説明

連動では LAN を使用して Cisco Unity と Cisco Unified Communications Manager を接続します。ゲートウェイによって PSTN に接続されます。図 31-1 は、この接続を示しています。

図 31-1 電話機システムと Cisco Unity の接続



(注)

次の例は、発信者が Cisco Unity Auto-Attendant を経由する場合にだけ適用されます。それ以外のほとんどのコールは、適切なボイスメールボックスに直接ルーティングされます。たとえば、発信者は、ユーザにコールしてボイス メッセージ システムに自動転送された場合、ボイスメールボックスに直接移動し、ボイス メッセージを記録できます。ボイス メッセージをチェックするために電話機からコールしたユーザは、ボイスメールボックスに直接移動し、ボイス メッセージを聞くことができます。

1. 外線コールが着信すると、Cisco ゲートウェイは、Cisco Unified Communications Manager がインストールされているマシンに、LAN 経由でコールを送信します。
2. コールを Cisco Unity にルーティングするよう設定されている Cisco Unified Communications Manager 回線では、Cisco Unified Communications Manager は使用可能な Cisco Unity 内線にコールをルーティングします。
3. Cisco Unity はコールに応答し、通話開始のグリーティングを再生します。
4. この通話開始のグリーティング中に、発信者はユーザの名前または内線（1234 など）を入力します。
5. Cisco Unity は、内線 1234 へのコールがあることを Cisco Unified Communications Manager に通知します。
6. この時点では、監視転送とリリース転送のどちらを実行するように Cisco Unity が設定されているかによって、コールのパスは異なります。詳細については、適切な『Cisco Unified Communications Manager Integration Guide for Cisco Unity』を参照してください。

# Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク連動

Cisco Unity Connection 1.1 以降では、Cisco Unified Communications Manager 電話機システムに SIP を実行する電話機だけがある場合、Cisco Unified Communications Manager 電話機システムとの SIP トランク連動をサポートしています。詳細については、適切な『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。Cisco Unity 4.2 以降でも、SIP トランク連動をサポートしています。詳細については、適切な『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity*』を参照してください。次のリストは、Cisco Unified Communications Manager 電話機システムを Cisco Unity Connection または Cisco Unity と SIP トランクで連動させる場合に、Cisco Unified Communications Manager の管理から実行する必要がある操作のヒントを示しています。

- Cisco Unity を指す SIP トランクを作成し、[番号 IE 配信のリダイレクト - アウトバウンド (Redirecting Number IE Delivery - Outbound)] を必ずオンにする。この操作により、Cisco Unified Communications Manager は Diversion ヘッダーを Cisco Unity に送信し、ユーザが正しいボイスメールボックスにアクセスできます。『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「[トランクの設定](#)」を参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク連動は MWI に適用される。SIP ボイスメッセージ トランクの SIP トランク セキュリティ プロファイルを設定する場合は、[Unsolicited NOTIFY の許可 (Accept Unsolicited Notification)] をオンにします。この操作により、MWI が正しく動作します。転送をサポートする場合は、[Replaces ヘッダーの許可 (Accept Replaces Header)] を有効にする必要があります。この操作により、Cisco Unity が開始する監視転送に使用される「REFER w/replaces」が渡されます。
- 電話機が RFC-2833 ごとに DTMF リレーをサポートするようにする。Cisco Unity は OOB と RFC-2833 の両方をサポートしています。
- ルート パターン (7555 など) を定義し、そのルート パターンが Cisco Unity への SIP トランクを指すようにする。『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「[ルート パターンの設定](#)」を参照してください。
- ボイスメール パイロットを定義する (7555 など)。『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「[Cisco ボイスメール パイロットの設定](#)」を参照してください。
- 前の手順で定義したボイスメール パイロットを使用して、ボイスメール プロファイル (VM Profile 1 など) を定義する。『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「[ボイスメール プロファイルの設定](#)」を参照してください。



(注) 前の手順で定義したボイスメール プロファイルが、システム デフォルトになります。

## ボイスメール ポートのセキュリティ

Cisco Unified Communications Manager ボイスメール ポートおよび Cisco Unity SCCP デバイ스에 セキュリティを設定した場合、各デバイスが他のデバイスの証明書を受け付けた後、認証済みのデバイスに対して TLS 接続 (ハンドシェイク) が開きます。同様に、デバイスに暗号化を設定した場合、システムはデバイス間に SRTP ストリームを送信します。

デバイスセキュリティモードが認証のみ、または暗号化の場合、Cisco Unity-Unified CM TSP は、Cisco Unified Communications Manager TLS ポートを使用して Cisco Unified Communications Manager に接続します。セキュリティモードが非セキュアの場合、Cisco Unity TSP は、Cisco Unified Communications Manager ポートを使用して Cisco Unified Communications Manager に接続します。Cisco Unity Connection は、Cisco Unified Communications Manager TLS ポートを使用して Cisco Unified Communications Manager に接続します。

セキュリティの設定方法に関する相互作用、制限事項、および手順については、『*Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド*』を参照してください。

## 参考情報

### 参考資料

- 「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」 (P.31-2)
- 「システム要件」 (P.31-4)
- 「連動の説明」 (P.31-5)
- 「ボイスメールポートのセキュリティ」 (P.31-6)
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「Cisco ボイスメールポートの設定」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「サービスパラメータの設定」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「電話番号の設定」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「エンドユーザの設定」
- 『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity*』
- 『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity*』
- 『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection*』
- 『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection*』
- 『*Cisco Unity Installation Guide*』
- 『*Cisco Unity Troubleshooting Guide*』
- 『*Cisco Unity Connection Installation Guide*』
- 『*Cisco Unity Connection Troubleshooting Guide*』

